

令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力に関する贈与契約署名式における
伊藤直樹大使スピーチ（3月4日 於 フート省ハホア郡）

カオ・ティ・トゥアン・タン・ハホア郡党委書記、グエン・ゴック・アイン同郡人民委員長、ズー・ヴァン・クアン・フート省外務局長、ゴ・アイン・ヴー・ハホア郡副人民委員長、ご出席の皆さま、本日は、日本国大使館を迎えてくださるとともに、大勢の方にご出席頂いて、式典ができることを光栄に存じます。また、人民委員長から大変素晴らしいご挨拶を頂戴したことについても感謝を申し上げます。フート省ハホア郡を訪問することができ大変嬉しく思っています。そして、草の根・人間の安全保障無償資金協力「フート省ヒエンルオン小学校校舎建設計画」についての贈与契約書に署名できることを大変待ち望んでいました。

署名式が始まる前、郡党委書記及び人民委員長から、ハホア郡における台風被害の状況及び、復興に向けた努力について伺いました。改めて、昨年9月の台風3号（ヤギ）により、大変大きな被災にあわれたフート省、ハホア郡の方々にお見舞い申し上げます。また、フート省ハホア郡において、地元のコミュニティの復旧と復興、そして、生活を元通りにするほか、従前よりも安全、安心な環境の下でより良い生活を送ることができるよう、努力されていることへ敬意を表したいと思えます。

台風3号（ヤギ）による被害が発生した直後、日本政府は、JICAを通じて物資の緊急支援を行ったほか、UNICEF（国際連合児童基金）やIOM（国際移住機関）を通じた協力を行いました。この協力を進める過程で、外務省グエン・ミン・ブー次官から、ヒエンルオン小学校が大変大きな被害を受け、フート省の方が困っているという話を伺いました。

我々大使館は、状況を確認した後、小学校の状況に照らして支援をすることの意義を理解し、直ちに東京に連絡し、調整を開始しました。それから半年足らずで本日の署名式に至ったことを大変嬉しく思うとともに、懸命に努力をされた大使館員に感謝を申し上げます。

在ベトナム日本国大使館は、草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みによって、1992年から昨年まで30年以上に渡って、739件、総額6,600万ドルの草の根・人間の安全保障無償資金協力事業を実施しています。この資金協力の目的は、ベトナム各地のコミュニティにおいて、人々の生活や、教育、医療といったサービスの向上につながるようなお手伝いをするほか、小規模なインフラを整備することにあります。

今回のヒエンルオン小学校校舎建設計画に対する資金供与は、20万ドルを超える規模です。同じく台風3号（ヤギ）の被災に対する支援として、昨日、ラオカイ省において署名した、橋の建設計画や避難所として利用可能なコミュニティハウスの建設計画の計3案件とあわせると、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じた台風3号（ヤギ）の被災に対する資金供与は、合計約60万ドルになります。

先ほど人民委員長から、プロジェクトの着実な実施について力強いお言葉を頂戴しました。我々も本日署名することにより資金協力ができるようになりますので、この新しい校舎の建設プロジェクトが速やかに実施され、地元の子供達が安全・安心な環境で授業を受けら

れること、ひいては初等教育環境が改善することを期待しています。また、このヒエンルオン小学校が日本とベトナム、日本とフート省、日本とハホア郡の良好な協力の象徴として、長きにわたって地元の子供達に愛される存在となることを期待しています。

最後にフート省ハホア郡、ヒエンルオン小学校のますますのご発展と、ご出席の皆さまのご健勝をお祈りして私からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。